

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 大成温調株式会社

コード番号 1904 URL <https://www.taisei-oncho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 水谷 憲一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 岡田 浩二 TEL 03-5742-7300

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|-------|-------|-------|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 32,356 | △4.4 | 795 | — | 1,176 | 295.5 | 723 | — |
| 2022年3月期第3四半期 | 33,852 | △0.9 | 25 | △94.0 | 297 | △46.9 | △17 | — |

（注）包括利益 2023年3月期第3四半期 1,624百万円（247.8%） 2022年3月期第3四半期 467百万円（45.7%）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 120.38 | — |
| 2022年3月期第3四半期 | △2.72 | — |

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 38,246 | 24,967 | 65.3 | 4,260.39 |
| 2022年3月期 | 40,228 | 24,696 | 61.4 | 3,897.53 |

（参考）自己資本 2023年3月期第3四半期 24,955百万円 2022年3月期 24,685百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 0.00 | — | 76.00 | 76.00 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2023年3月期（予想） | — | — | — | 78.00 | 78.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 46,000 | △6.4 | 1,600 | 27.4 | 1,650 | △3.0 | 1,000 | 2.6 | 157.89 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2023年3月期3Q | 6,882,487株 | 2022年3月期 | 6,882,487株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期3Q | 1,024,808株 | 2022年3月期 | 548,908株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2023年3月期3Q | 6,008,658株 | 2022年3月期3Q | 6,435,001株 |

(注) 当社は株式報酬制度を導入しており、期末自己株式数には、当該株式報酬制度の信託財産として株式会社日本カストディ銀行 (信託口) が保有する当社株式 (2023年3月期3Q 38,600株、2022年3月期38,600株) を、また期中平均株式数を算定するための控除する自己株式数には、当該信託口が保有する当社株式 (2023年3月期3Q 38,600株、2022年3月期3Q 39,004株) を含めて計算、記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | 頁 |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (収益認識関係) | 8 |
| 3. 補足情報 | 9 |
| 個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まりつつあり正常化に向け動き始めましたが、ウクライナ情勢の長期化やサプライチェーンの混乱に伴う資源価格の高騰、金融資本市場の変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、比較的堅調に回復していますが、円安やウクライナ情勢を発端とした資材価格の高騰により、厳しい状況が続くものと懸念されます。

このような環境のもと当社グループは、中期経営計画「LIVZON DREAM 2030 1st half!」を推進し、「1st half!」の目標である『コア事業の収益性改善』と『成長のための土台作り』をESGに注力した情報発信体制の構築とともに確実に進めております。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比21.6%増の494億48百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同四半期比4.4%減の323億56百万円となり、営業利益は7億95百万円（前年同四半期は営業利益25百万円）、経常利益は前年同四半期比295.5%増の11億76百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億23百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失17百万円）となりました。

当社グループの売上高は、通常の営業形態として、連結会計年度末に完成する工事について多額になる傾向があり、一方、販売費及び一般管理費等の固定費は各四半期にほぼ均等に発生します。時期に偏りのない安定した売上と利益の確保に努めておりますが、利益が連結会計年度末に偏る季節的変動があります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

売上高につきましては前年同四半期比14.6%減の234億44百万円となり、セグメント利益は5億31百万円（前年同四半期はセグメント損失20百万円）となりました。

② 米国

売上高につきましては前年同四半期比69.1%増の80億75百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比186.4%増の3億2百万円となりました。

③ 中国

売上高につきましては前年同四半期比49.8%減の8億6百万円となり、セグメント損失は36百万円（前年同四半期はセグメント損失57百万円）となりました。

④ オーストラリア

売上高につきましては前年同四半期比7.8%減の30百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比29.5%減の11百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は382億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億81百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、現金及び預金が15億10百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は132億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億52百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、支払手形・工事未払金等が18億86百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は249億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億70百万円の増加となりました。その主な要因といたしましては、為替換算調整勘定が8億98百万円、利益剰余金が2億39百万円それぞれ増加し、自己株式の取得により8億69百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,364,442 | 10,853,770 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 12,492,492 | 11,381,546 |
| 電子記録債権 | 1,666,451 | 1,298,076 |
| 有価証券 | 2,705 | 142,751 |
| 未成工事支出金 | 109,966 | 296,810 |
| 商品 | 20,862 | 33,198 |
| 原材料 | 261,621 | 319,278 |
| その他 | 786,466 | 740,860 |
| 貸倒引当金 | △41,352 | △59,070 |
| 流動資産合計 | 27,663,657 | 25,007,222 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 3,766,466 | 4,131,634 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,490,630 | 1,690,957 |
| 土地 | 3,930,315 | 4,479,342 |
| 建設仮勘定 | 10,500 | 10,500 |
| その他 | 423,330 | 464,370 |
| 減価償却累計額 | △3,596,546 | △3,984,396 |
| 有形固定資産合計 | 6,024,696 | 6,792,408 |
| 無形固定資産 | | |
| 395,745 | | 315,770 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,305,715 | 4,266,307 |
| 長期貸付金 | 31,931 | 33,231 |
| 退職給付に係る資産 | 84,211 | 71,048 |
| 繰延税金資産 | 719,838 | 672,784 |
| その他 | 1,238,942 | 1,324,078 |
| 貸倒引当金 | △236,211 | △235,927 |
| 投資その他の資産合計 | 6,144,428 | 6,131,521 |
| 固定資産合計 | 12,564,870 | 13,239,700 |
| 資産合計 | 40,228,528 | 38,246,923 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 6,715,710 | 4,829,364 |
| 電子記録債務 | 4,230,777 | 3,845,182 |
| 未払法人税等 | 149,250 | 228,987 |
| 未成工事受入金 | 2,752,353 | 2,421,879 |
| 賞与引当金 | 285,555 | 146,360 |
| 完成工事補償引当金 | 52,181 | 61,536 |
| 工事損失引当金 | 115,355 | 156,757 |
| 関係会社整理損失引当金 | 30,000 | — |
| その他 | 1,026,108 | 1,414,627 |
| 流動負債合計 | 15,357,293 | 13,104,696 |
| 固定負債 | | |
| その他 | 174,643 | 174,974 |
| 固定負債合計 | 174,643 | 174,974 |
| 負債合計 | 15,531,936 | 13,279,670 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,195,057 | 5,195,057 |
| 資本剰余金 | 5,132,677 | 5,132,677 |
| 利益剰余金 | 14,159,800 | 14,398,836 |
| 自己株式 | △634,215 | △1,503,704 |
| 株主資本合計 | 23,853,319 | 23,222,867 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 573,197 | 572,802 |
| 為替換算調整勘定 | 242,257 | 1,140,900 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 16,549 | 19,414 |
| その他の包括利益累計額合計 | 832,004 | 1,733,117 |
| 新株予約権 | 11,268 | 11,268 |
| 純資産合計 | 24,696,592 | 24,967,252 |
| 負債純資産合計 | 40,228,528 | 38,246,923 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | | |
| 完成工事高 | 32,587,755 | 31,557,287 |
| その他の事業売上高 | 1,265,204 | 799,603 |
| 売上高合計 | 33,852,959 | 32,356,890 |
| 売上原価 | | |
| 完成工事原価 | 29,456,548 | 27,278,562 |
| その他の事業売上原価 | 1,106,518 | 644,355 |
| 売上原価合計 | 30,563,066 | 27,922,917 |
| 売上総利益 | | |
| 完成工事総利益 | 3,131,207 | 4,278,724 |
| その他の事業総利益 | 158,685 | 155,247 |
| 売上総利益合計 | 3,289,893 | 4,433,972 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,264,482 | 3,638,932 |
| 営業利益 | 25,410 | 795,039 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 64,822 | 58,426 |
| 為替差益 | 141,096 | 433,838 |
| 受取保険金 | 67,885 | 97,168 |
| その他 | 54,868 | 18,117 |
| 営業外収益合計 | 328,671 | 607,550 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,329 | 2,948 |
| 持分法による投資損失 | — | 203,398 |
| 工事補修費 | 13,347 | — |
| その他 | 37,841 | 19,344 |
| 営業外費用合計 | 56,518 | 225,691 |
| 経常利益 | 297,564 | 1,176,899 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 42,118 |
| 投資有価証券売却益 | 208,176 | — |
| 子会社清算益 | 15,078 | — |
| 特別利益合計 | 223,254 | 42,118 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 12,501 | — |
| 建物除却損 | 19,056 | — |
| 投資有価証券評価損 | 618,514 | 12,005 |
| 関係会社株式評価損 | — | 11,274 |
| 関係会社整理損 | 26,140 | 31,646 |
| 会員権売却損 | — | 2,050 |
| 訴訟損失引当金繰入額 | 27,090 | — |
| 損害賠償金 | — | 33,182 |
| 特別損失合計 | 703,302 | 90,158 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △182,484 | 1,128,858 |
| 法人税等 | △164,983 | 405,536 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △17,500 | 723,322 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △17,500 | 723,322 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △17,500 | 723,322 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 189,014 | △395 |
| 為替換算調整勘定 | 240,546 | 829,183 |
| 退職給付に係る調整額 | 241 | 2,864 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 54,759 | 69,459 |
| その他の包括利益合計 | 484,562 | 901,112 |
| 四半期包括利益 | 467,062 | 1,624,435 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 467,062 | 1,624,435 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月19日開催の取締役会決議に基づき、2022年5月20日に東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、自己株式275,900株を取得いたしました。

また、2022年8月18日開催の取締役会決議に基づき、2022年8月19日に東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、自己株式200,000株を取得いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式は869,488千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において1,503,704千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準の適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 財務諸表 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|-------------|-------------|------------|-------------|------------------------------|
| | 日本 | 米国 | 中国 | オースト ラリア | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 一時点で移転される財 | 6,815,956 | — | — | — | — | 6,815,956 | — | 6,815,956 |
| 一定の期間にわたり移 転される財 | 20,544,600 | 4,776,316 | 1,605,950 | — | — | 26,926,866 | — | 26,926,866 |
| 顧客との契約から生じ る収益 | 27,360,556 | 4,776,316 | 1,605,950 | — | — | 33,742,823 | — | 33,742,823 |
| その他の収益 | 77,295 | — | — | 32,840 | — | 110,136 | — | 110,136 |
| 外部顧客への売上高 | 27,437,852 | 4,776,316 | 1,605,950 | 32,840 | — | 33,852,959 | — | 33,852,959 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 27,437,852 | 4,776,316 | 1,605,950 | 32,840 | — | 33,852,959 | — | 33,852,959 |
| セグメント利益又は損失 (△) | △20,700 | 105,775 | △57,286 | 16,690 | △19,554 | 24,924 | 486 | 25,410 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド事業およびフィリピン事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 財務諸表 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|-----------|---------|-------------|-------------|------------|-------------|------------------------------|
| | 日本 | 米国 | 中国 | オースト ラリア | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 一時点で移転される財 | 5,221,168 | — | — | — | — | 5,221,168 | — | 5,221,168 |
| 一定の期間にわたり移 転される財 | 18,161,074 | 8,075,578 | 806,473 | — | — | 27,043,127 | — | 27,043,127 |
| 顧客との契約から生じ る収益 | 23,382,243 | 8,075,578 | 806,473 | — | — | 32,264,296 | — | 32,264,296 |
| その他の収益 | 62,315 | — | — | 30,278 | — | 92,594 | — | 92,594 |
| 外部顧客への売上高 | 23,444,559 | 8,075,578 | 806,473 | 30,278 | — | 32,356,890 | — | 32,356,890 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 23,444,559 | 8,075,578 | 806,473 | 30,278 | — | 32,356,890 | — | 32,356,890 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 531,644 | 302,899 | △36,119 | 11,773 | △15,869 | 794,328 | 710 | 795,039 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

3. 補足情報

(個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況)

| 期別 | 区分 | 前期繰越工事高 (千円) | 当期受注工事高 (千円) | 計 (千円) | 当期完成工事高 (千円) | 次期繰越工事高 (千円) |
|--|----------|-----------------|-----------------|------------|-----------------|-----------------|
| 前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日) | 新築工事 | 23,972,800 | 13,299,220 | 37,272,020 | 15,209,102 | 22,062,918 |
| | 改修・保守修理等 | 4,971,408 | 15,185,751 | 20,157,159 | 11,313,556 | 8,843,603 |
| | 計 | 28,944,208 | 28,484,972 | 57,429,180 | 26,522,658 | 30,906,522 |
| 当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日) | 新築工事 | 20,542,701 | 21,434,158 | 41,976,859 | 10,839,320 | 31,137,539 |
| | 改修・保守修理等 | 6,525,090 | 15,638,383 | 22,163,473 | 11,907,029 | 10,256,443 |
| | 計 | 27,067,791 | 37,072,541 | 64,140,333 | 22,746,350 | 41,393,983 |
| 前事業年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日) | 新築工事 | 23,972,800 | 18,501,457 | 42,474,257 | 21,931,556 | 20,542,701 |
| | 改修・保守修理等 | 4,971,408 | 17,998,036 | 22,969,444 | 16,444,354 | 6,525,090 |
| | 計 | 28,944,208 | 36,499,493 | 65,443,702 | 38,375,910 | 27,067,791 |

- (注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合、当期受注工事高にその増減額が含まれております。したがって、当期完成工事高にもかかる増減額が含まれております。
2. 次期繰越工事高は(前期繰越工事高+当期受注工事高-当期完成工事高)に一致しております。